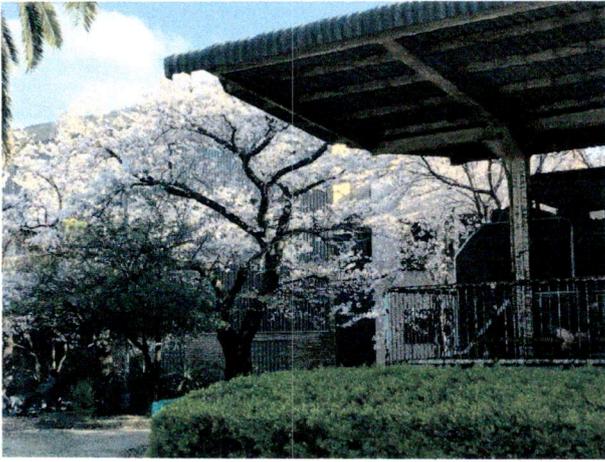


春の法要・ミニライブ

去る4月6日日曜日、午後1時
徳成寺において、春の法要が勤
まりました。

この日は、ポカポカ陽気で隣の公
園の桜も満開となり、お参りもし
やすかったようです。

前日までは、花冷えが続いてい
たので、桜が散ることもなく、ま
るで春の法要を待っていたかのよ
うでした。



コロナ禍以後、久々に再開した
お齋(お食事)がこちらです。5年
ぶりの再開になりました。

やはり参詣者の皆さんと頂く
お齋は距離感も縮まり、あらた
めていいものだなあと実感しまし
た。

朝からお手伝い頂いたご門徒皆
さんも、久しぶりでさぞお疲れに
なったのではないのでしょうか。これ
に懲りずに、よろしくお願いしま
す。

この度の法要で、感話していた
だいたのは、植田チズ子さんです。
不慣れなことをお願いしています
が、お寺にかけられた願い・そこに
集う人々にかけられた願いを聞き
取っていく機会にして頂ければ幸い
です。

春の法要のご講師は、鈴木君代
さんです。ギター演奏付きの恩徳
讃からスタートして下さいまし
た。亡き人から、背中を押されて
お寺にお参りしていると気づく時



もはや単なるご先祖ではなく、お
念仏の教えに出会わせてくれる諸仏
であるとかつて師匠から聞き取った
一言を披露して下さいました。分かっ
ても分からなくてもお念仏申す人の
中に、南無阿弥陀仏に励まされる世
界があるとも。

ミニライブでは、「お坊さんに憧れて
お寺の世界に入った」という歌を演奏
してくれました。

歌詞の中に、奇異に思う人の声も、
「かけがえのない人との出会いには勝
てなかった」とか、自分がひっくり返る
体験をしたなどの語があり、ギター
の音色にのってピンピン胸に響いて参
りました。

あまり世間では知られていません
が、知れば知る程、本物のお坊さんの
惚れ惚れするカッコ良さがあること
を声高らかに熱唱頂きました。深く
同感いたしました。

最後に、参加者全員で、「ふるさ
と」を合唱し、中には涙する方もお
られました。感動が、理屈を超えて
伝わりました。